

群馬大学医学部附属病院改革委員会（第8回）について

このことについて、下記のとおり開催いたしましたので報告いたします。

記

【日 時】 平成28年 3月30日（水） 15時55分～17時36分

【場 所】 ホテルK K R東京

【出席委員】 木村委員長，味木委員，伊藤委員，川崎委員，
小松原委員，宮坂委員，山口委員

【本学出席者】 平塚学長，和泉理事，後藤理事，田村病院長ほか

【審議事項】

- 前回の議事要旨の確認があった。
- (1) 中間まとめの取組状況について
 - 中間まとめの提言後，医学部附属病院の改善に向けたこれまでの取組状況について，大学から説明があった。
 - その後，意見交換が行われた。

【主な意見】

- 臓器別に外科学を改編できた理由は何か。また，臓器別に別れた各々の診療科の規模はどのくらいなのか。主要な部位の外科の人数が少ない体制では同じ状況となってしまう。
 - 新聞報道で医療事故調査委員会の記事があったが，本委員会が最終提言に向け医療事故調査委員会との連携はどのようにおこなうのか。
 - 中間まとめでは風土改革が大きな問題であったと思うが，院内において，院長巡視等風通しはよくなった。学長も全学一致で改革していくこととして，教授，若手教員との懇談会を行い，附属病院を含め大学運営について話し合いの場を作ってきた。
 - 医療安全管理部門の改善を行っているが，人員体制を含めた体制はどのように改善したのか。
 - 中間まとめからいろいろと改善されてきていると思うが，改善状況について，計数化の提示とともに説明を聞き，最終提言に向け検討したい。
- (2) 今後のスケジュールについて
事務局から説明があった。
今後は医療事故調査委員会の状況を踏まえて，最終提言を行うこととなるので，改めて招集することとした。
- (3) その他
本日の議事概要については，群馬大学のホームページで公表することとした。

注) 現在，委員に確認中のため，内容が変更となる場合があります。